

愛国浄水場では薬品の力を使って川の水から汚れを取り除いています。
その日の汚れ具合により浄水場の職員がジャーテストを行い
薬品の注入する量を決めています。

・ジャーテスト

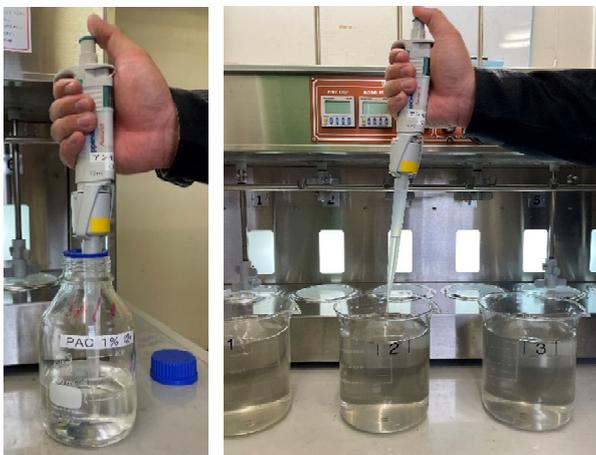
ジャーテストとは、日々変わる水質に対してどれくらいの薬品(凝集剤)を入れると適正なのかを比較し調べる試験です。

1) 川から取った原水に薬品を入れる



採水の様子

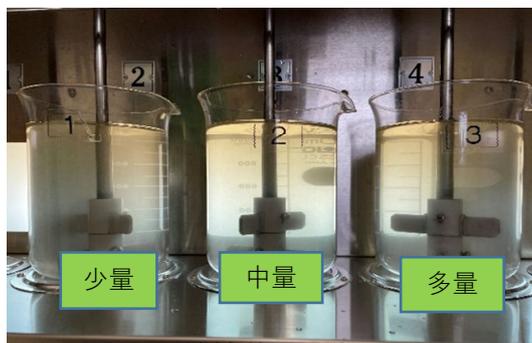
- ①原水を1リットル採水する。
比較する試験のためサンプルは何個か用意をする。



薬品注入の様子

- ②薬品(凝集剤)を注入する。
適正な注入量を導くため
注入量を何通りか変え比較する。

2) 薬品注入後の原水を攪拌(かくはん)し凝集させる。



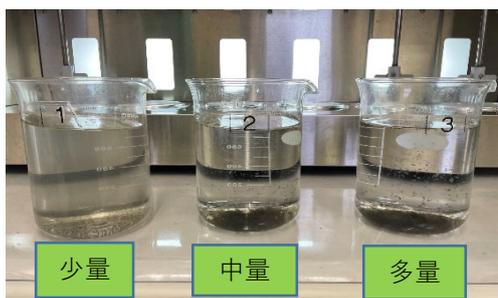
攪拌前の原水

薬品を注入後、攪拌することで原水に含まれている汚れを集めることができます。高速での攪拌が5分間。凝集した汚れを崩さないようにさらに凝集させるための緩速での攪拌が15分の計20分間かけて凝集させています。



攪拌中の原水

3) 攪拌し凝集させた汚れを沈降させる。



汚れを沈降させた原水

汚れを沈降させることにより上水がきれいになったことがわかります。上水を取り出し計測器で汚れ具合の数値を測定し比較する事で適正な薬品注入量を導き出しています。図のように薬品が少なすぎると凝集がほとんどできません。日々このような試験を行うことで安心して安全な水道水を作っています。



上水のサンプリング及び計測器での測定